

2022年10月11日

各位

会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼CEO 高崎正年
(コード3121 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 CFO 兼財務経理部長 小森格人
(TEL 03-6434-5540)

販売用不動産の売却に関するお知らせ

当社は、2022年10月7日付で、保有する販売用不動産の売却を決定し、売買契約を締結いたしましたので、ご報告させていただきます。

1. 売却する物件の概要並びに日程

- | | |
|------------|------------------|
| (1) 所在地 | 大阪市中央区 |
| (2) 種類 | 共同住宅 |
| (3) 構造 | 鉄筋コンクリート造陸屋根10階建 |
| (4) 契約締結日 | 2022年10月7日 |
| (5) 決済・引渡日 | 2022年10月28日(予定) |

2. 売却先の概要及び売却価格

大手住宅メーカーに売却いたしました。売却先及び売却価格につきましては、売却先との守秘義務に基づく売却先の意向により、公表を控えさせていただきます。なお、当社と売却先の間には、資本関係、人的関係、取引関係はなく、属性について問題はありません。

3. 業績等に与える影響

物件の売却による売上高並びに売却益120百万円程度(営業利益)を、2022年12月31日に終了する2023年3月期第3四半期に計上いたします。

2022年10月3日付「販売用不動産の売却に関するお知らせ」でご報告させていただきました、千葉県成田市所在の物件売却による売却益180百万円程度による2023年3月期第2四半期(2022年4月1日～9月30日)黒字化に続き、2023年3月期第3四半期(2022年4月1日～12月31日)におきまして、今回の大阪市中央区所在の物件売却により、さらに利益を上乘せいたします。

なお、当該不動産は、安定的に賃貸収入を確保するため、長期的に保有しながら、売却により十分な利益が見込める場合には売却することを目的に取得しました。これまで、売却の見通しがなかったことから、連結貸借対照表上、有形固定資産としておりましたが、今般、売却により十分な利益を確保できる見通しが立ったことから、保有目的を変更し、有形固定資産から販売用不動産に振り替えることとし、当該不動産の売買取引は営業取引として会計処理いたします。

4. 今後の方針

当社は、安定的収益基盤の源泉として、長期的に収益用不動産を保有しております。積極的に収益用不動産を取得し、家賃収入による安定的利益の積上げを行いながら、保有物件の入替を行い、引き続き、積極的に物件売却による利益も実現してまいります。

今後も、不動産投資事業に関しては、購入、売却を、行いながら、開発も含めて、利益を追求してまいります。

以上